

第 67 回 町 村 議 会 議 長 全 国 大 会

森山裕 自由民主党総務会長 祝辞

本日、第 67 回町村議会議長全国大会が開催をされますこと、心からお慶びを申し上げます。67 回という輝かしい実績を残してこられたこと心から敬意を表する次第であります。

私も地方議会の議長を務めておりましたので、皆様の日頃のご苦勞はよく理解しているつもりでいます。

我が国は 2000 年に地方分権一括法という法律を施行しました。その法律の内容は国と地方の関係は上下の関係ではなく、主従の関係でもない、対等・協力の関係だということを位置づけました。

我々はこの事を一時も忘れてはいけないのだと思います。色んな政策を決め、実施していく時も、上下の関係ではなく、対等・協力の関係であると法律が示している事を強く認識しておかなければならないと思っております。

我が国は二元代表制をとっています。町長や村長の方々も有権者の皆様から直接お選びいただく。議員の皆様も同じ様に町民や村民の方々を選んでくださる。その中で議長が誕生している訳ですから、この二元代表制を育てていく事が大事であると思っております。

本年 4 月の統一地方選挙におきましては、皆様方に大変な御尽力をいただき、自民党としては、堅調な結果を残すことが出来ました。当時、選挙対策委員長を務めておりました者として、改めて感謝を申し上げます。

さて、総合経済対策を実行するための補正予算がまもなく成立をしたいと思います。その中で、「重点支援地方交付金」は、約 1 兆 6 千億円を計上し、自治体の地域の実情に応じて生活者や事業者支援にきめ細かく活用できる予算も 5 千億円を用意しております。

補正予算が成立しましたら、できるだけ早く執行することが大事だと思います。昨年は、少々予算の成立が遅れましたので、地方議会の皆様に大変ご迷惑をおかけしたのではないかと思っております。今回は 11 月 2 日に総合経済対策を

決定した際に政府より、各自治体に対して低所得者世帯に対する追加給付や推奨する事業メニュー等について、住民の皆様いち早くお届けするため、年内の予算化に向けた検討を早めるよう要請いたしましたので、各議会において、速やかな議決をいただけるようお力添えをお願いする次第であります。

内外の情勢が厳しさを増している中、岸田政権は必死で頑張っております。物価高や少子社会、人口減少など、先送りできない課題の1つ1つに結論を出すことで、国民の皆様の期待に応えてまいりたいと思っております。

皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げる次第であります。後ほど大会の決議をされると伺っております。ご決議いただきました内容につきましては、我々もしっかりと政府と一体となって実現に向けて努力をしてみたいと考えております。また、「議会の機能強化及び多様な人材が参画するための環境整備に関する重点要望」についてですが、極めて大事な課題だと思っております。地方議会に人材を失ってはなりません。そのために我々は法律を必要があれば改正しなければなりませんし、また、誇りを持って地方議会議員として働いていただける環境を作っていく事は極めて大事な事なのではないでしょうか。どうか議長の皆様、議員の皆様と一緒に奮い立っていただきたいと思っております。我々はしっかりお支えできるように頑張ってみたいと考えております。

本日はお招きをいただきましたことに心から感謝を申し上げ、全国町村議会議長会の益々のご発展を祈念し、ご挨拶いたします。有難うございました。